

プレスリリース

2007年5月15日
マイティカード株式会社

マイティカード、RFIDシステムのみドルウェアをヨドバシカメラに導入

マイティカード株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：株本 幸二、以下 マイティカード）は、複数のRFIDリーダライタをネットワーク経由で制御、複雑なフィルタリングおよび上位システムとの円滑なデータ連結を可能にするみドルウェア「TrueVUE みドルウェア」を、株式会社ヨドバシカメラ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：藤沢昭和、以下ヨドバシカメラ）に導入しました。5月中の本格稼働を予定しています。

TrueVUE みドルウェアは、米国 Vue Technology 社の技術をベースにマイティカードが開発・最適化したものです。RFID リーダライタとアプリケーションソフトウェアをつなぐみドルウェアは、リーダライタと1:1で用いるのが通常ですが、TrueVUE みドルウェアであれば1台で複数のリーダライタを制御することが可能になります。また、EPC 履歴表示機能、リーダメモリ内読取りデータ削除機能、リーダ・アンテナ稼働状況確認機能等も備えております。

2006年5月に、マイティカードはヨドバシカメラに対して、米国モトローラ（旧シンボルテクノロジ）社のRFID製品を導入。複数のケースに貼付されたタグを、倉庫に設置されたリーダの一括読取りにより、入荷作業や入荷検品の省力化を実現しています。リアルタイムでの在庫管理システムや基幹システムとの連動で、効果的なサプライチェーン構築への貢献が評価され、今回のみドルウェアの採用に至りました。

TrueVue みドルウェアはEPCglobalにより同社が規定する世界標準のプログラム・インターフェイスであるALE（Application Level Event）準拠であることが認定されており、上位プログラムとのデータ連結が容易に行えます。

マイティカードでは、売上向上、倉庫運用費用や在庫金利の圧縮など、目に見えるROI（Return on Investment）をお客様にもたすRFIDソリューションを、これまで以上に提供していきます。

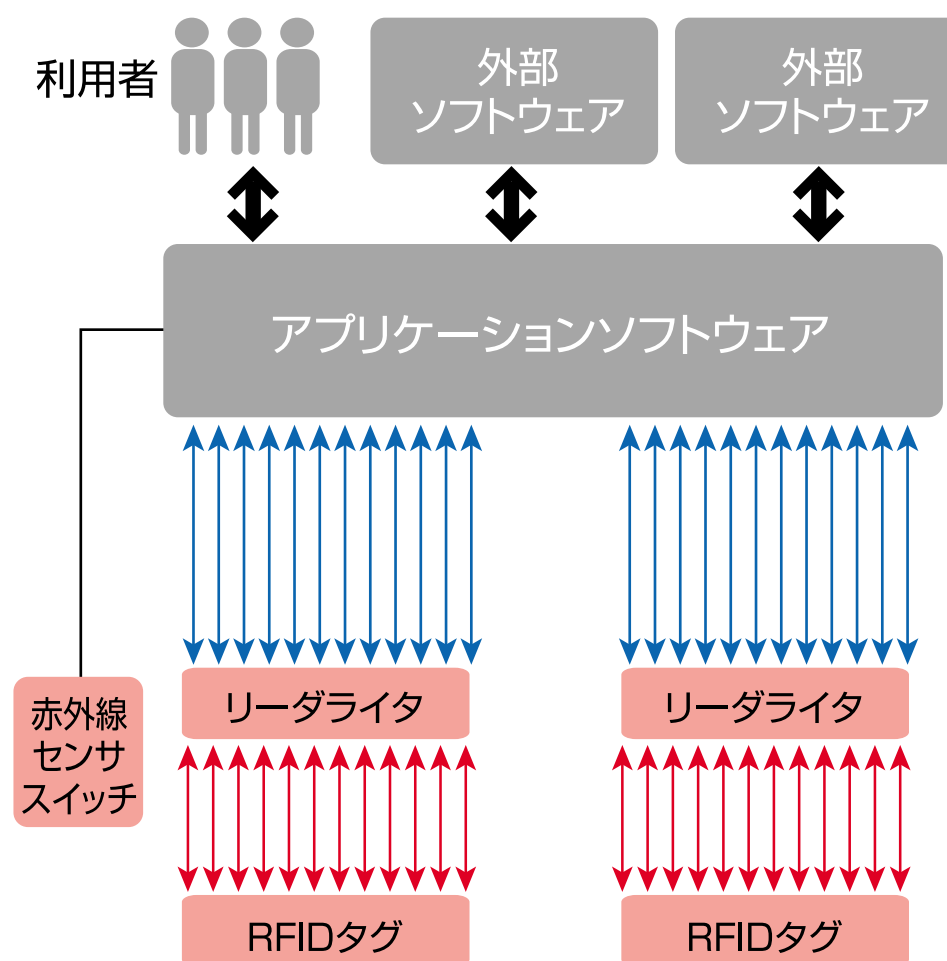
記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

このリリースに関するお問い合わせ先

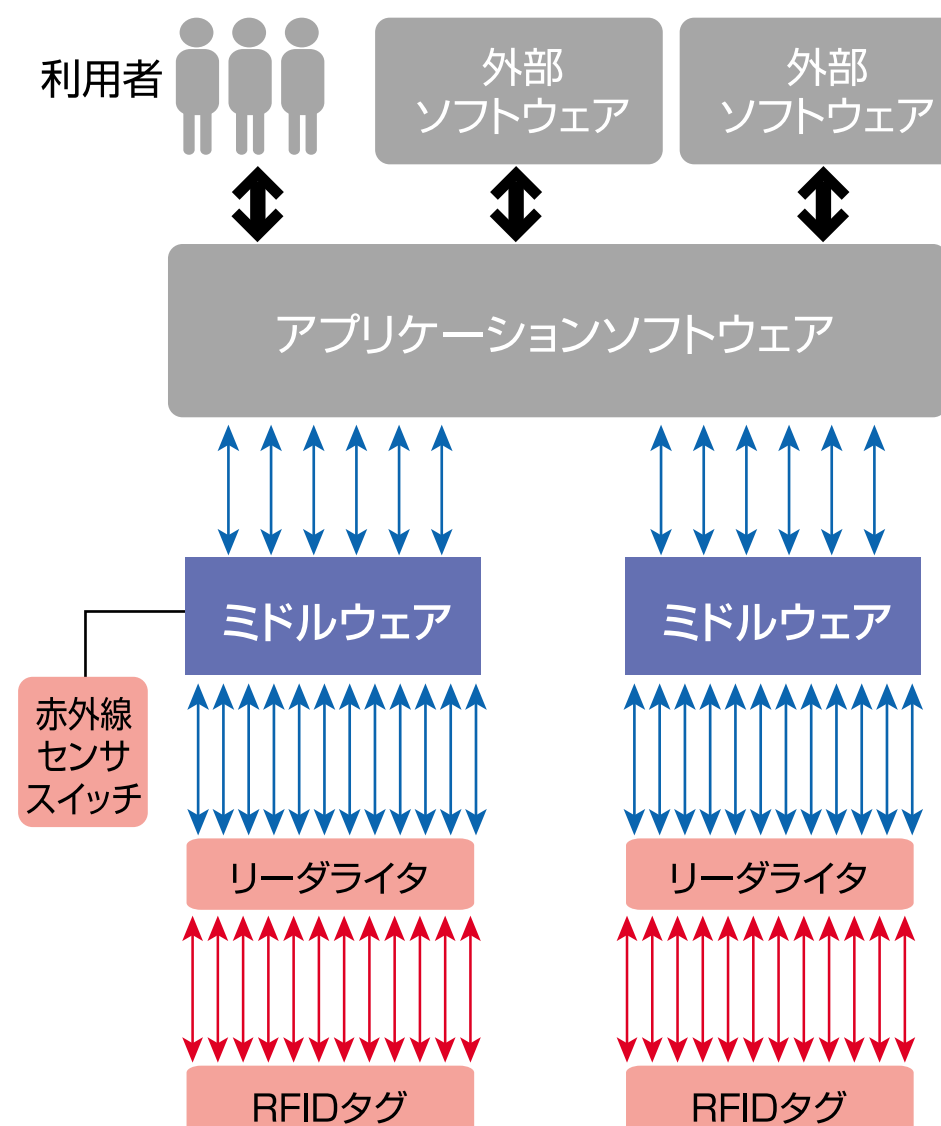
マイティカード株式会社 担当：営業・マーケティング本部
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-12-8 渋谷南東急ビル 5階
TEL:03-5466-0510(代表) FAX:03-5466-0515
e-mail: info@mightycard.co.jp

TrueVUE RFID プラットフォームの心臓部 TrueVUE ミドルウェア

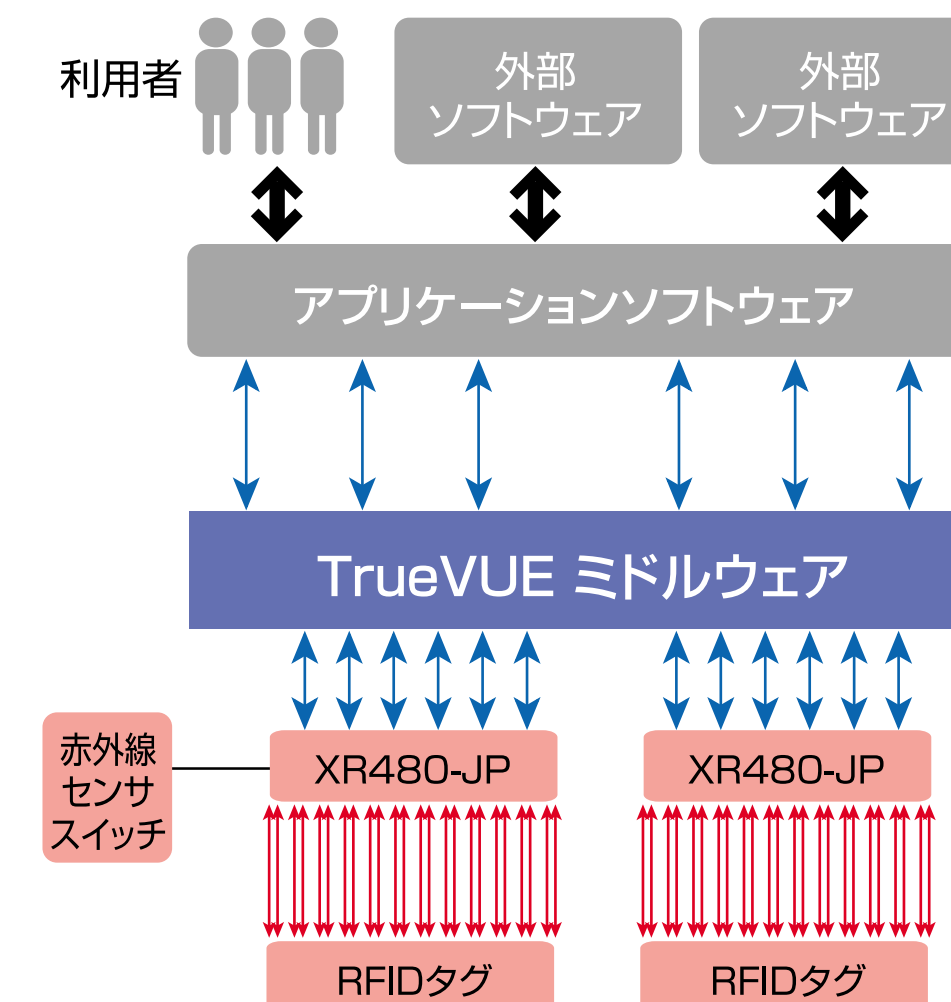
ミドルウェアなし



一般的なミドルウェア



TrueVUEミドルウェア



- EPCglobalが規定する世界標準のALEプログラムインターフェイス規格を利用することでアプリケーションの構築・再利用が容易になります。
- ミドルウェアでフィルタリングすることで、アプリケーションの簡素化が実現します。
- UHF帯インテリジェントリーダライタXR480-JPをHTTPモードを使用することにより、高い読取り率を確保すると共に、ネットワークのトラフィックが軽減されます。
- XR480-JPがセンサースイッチを制御するので、自動的に電波のON/OFFができます。
- ネットワーク対応型なので多数のリーダライタを1台のミドルウェアで制御できます。



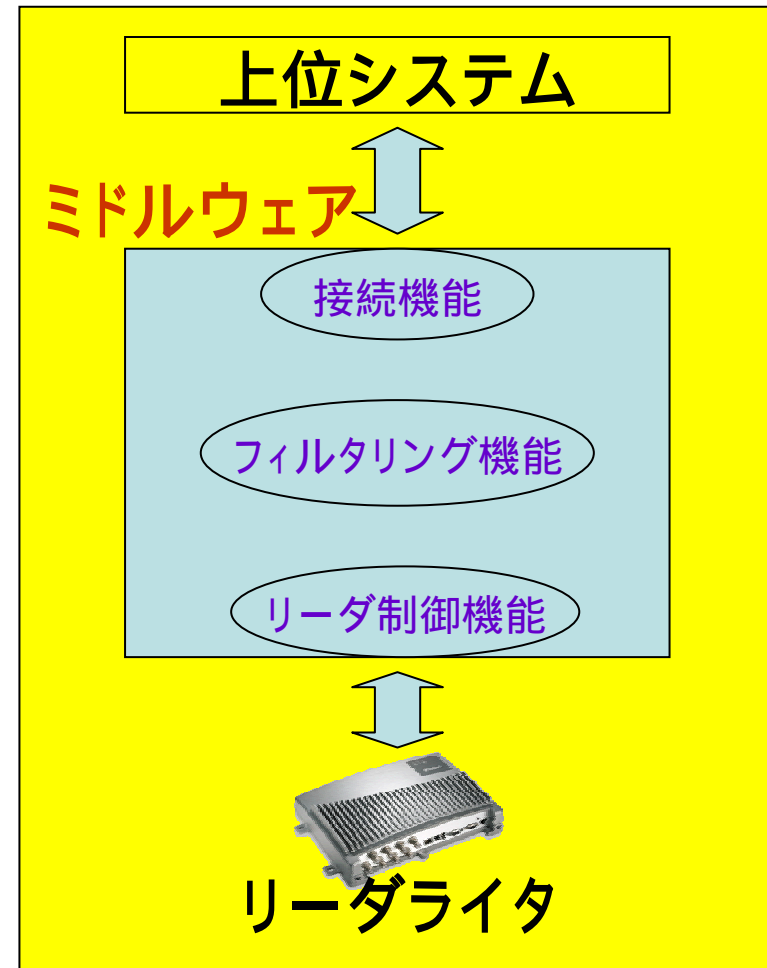
Tag the world.

TrueVUE ミドルウェアについて

2007年5月

マイティカード株式会社

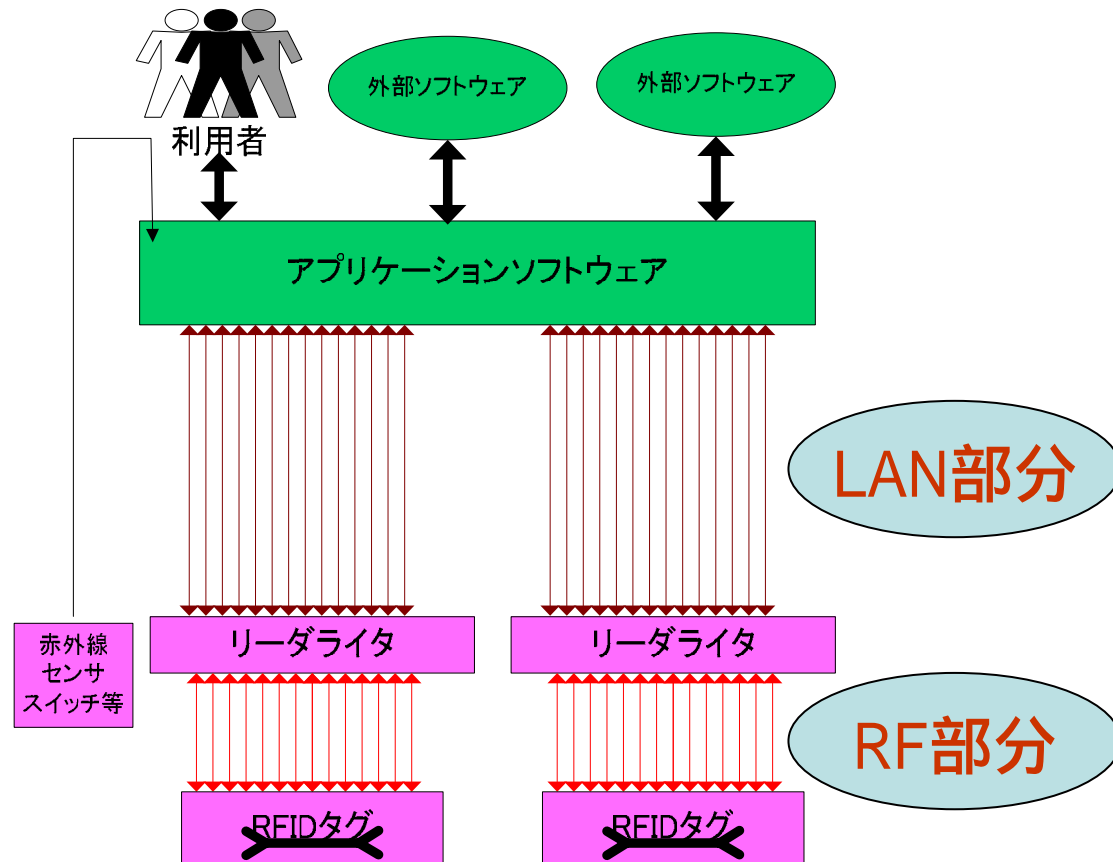
- RFIDシステム開発において、リーダライタの接続、フィルタリング、上位システムとの接続の各機能を担うためのミドルウェアは重要です。
- 目的に応じたミドルウェアを導入することにより開発者の負担や、運用コストを大幅に圧縮することが可能です。



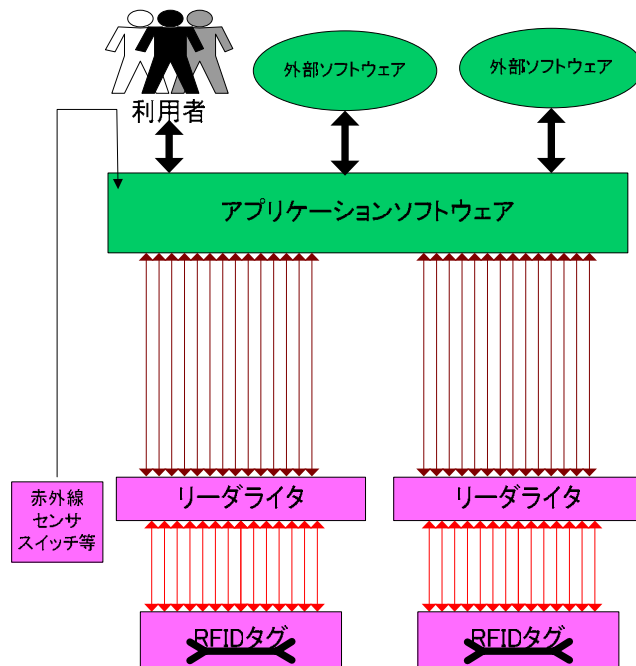
ミドルウェアの概念

- TrueVUE ミドルウェアは米国VUE Technology社の技術をベースに、マイティカードが開発し日本国内でご提供するRFIDシステム用ミドルウェアです。
- TrueVUE ミドルウェアの特徴
 - RFIDシステムの開発期間を圧縮できます。
 - 大規模RFIDシステムの運用コストを圧縮できます。
 - 高い信頼性があります。
 - EPCglobalの制定するALE ver1.0の承認を取得しています。
 - VUE Technology社は丸紅株式会社が出資する戦略的パートナーです。
 - VUE Technology社は米Motorola社(旧Symbol Technologies社)の技術パートナーです。

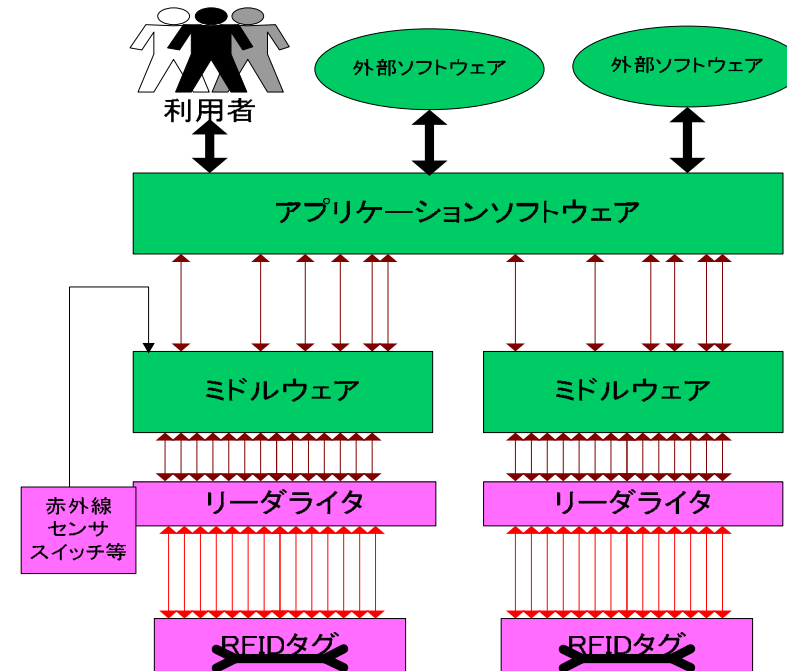
- ミドルウェア無しでは
APソフトウェアの
負担大。
将来のメンテ負担大。



ミドルウェアを利用しない場合

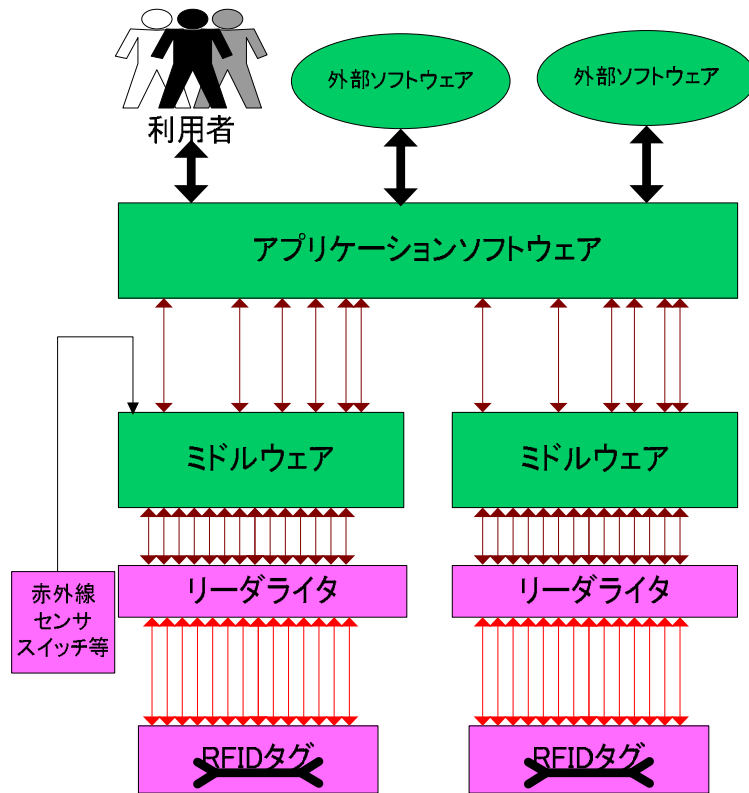


ミドルウェアを利用する場合

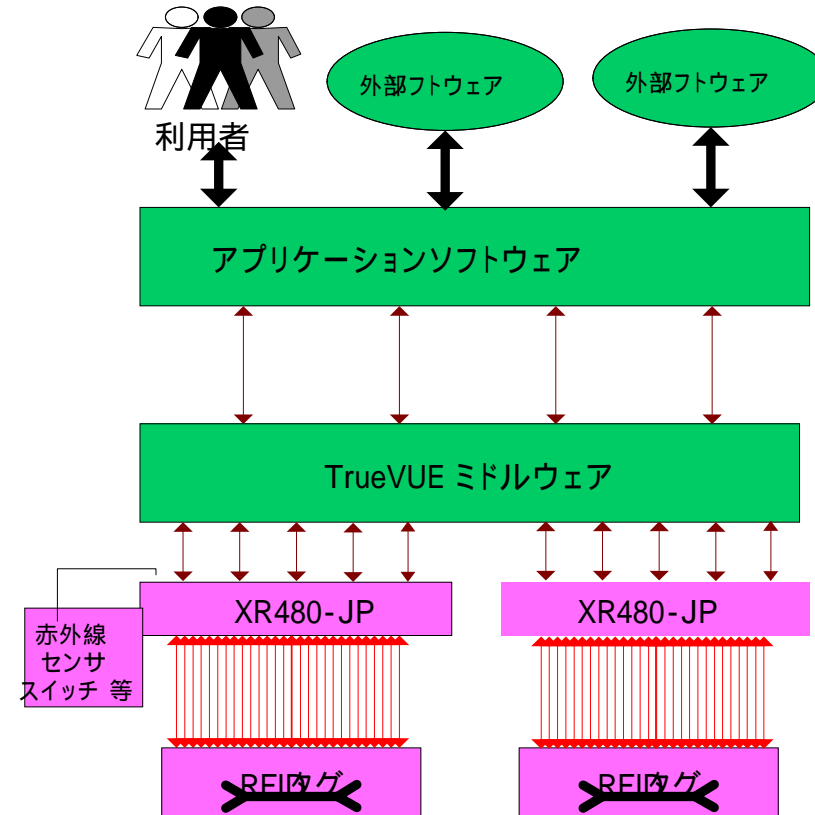


APソフトウェアの負担は大幅に減るものの、ミドルウェアとリーダライタ間のトラフィックは多い。

他社ミドルウェアを利用する場合



TrueVUE RFID ミドルウェアを利用する場合



- ・ XR480-JPのHTTP(オートマタ)モードに対応
=> リーダライタのインテリジェント化...RFIDタグの高速読み取りが可能。
=> ネットワークトラフィックが激減...地理的な距離を越えたVPN接続などにも対応可能。
- ・ 当社ミドルウェアなら1つで複数のリーダーライタを制御可
=> ミドルウェアの保守・監視は1箇所のみで可能。

利用する技術	それにより
ALE* プログラムインターフェイス	業界標準/アプリケーションの構築・再利用が容易。
ミドルウェアでのフィルタリング	アプリケーションが簡素化。
XR480-JP httpモード	NWトラフィック軽減/高い読取り率。
センサースイッチをXR480-JPが制御	自動で電波をON/OFF。アプリケーションが簡素化。
ネットワーク対応	多数のR/Wを1台のミドルウェアで制御可。

ALE* ... Application Level Event

EPCglobalが規定するミドルウェアの上位API規格。

現在全世界でTrueVUEを含め12製品が認定を受けています。

日本での実用例

Tag the world.



- ヨドバシカメラ様のアッセンブリーセンターにおいて、モトローラ社(旧シンボルテクノロジー社)製リーダーライトXR480-JPと合わせて導入を頂きました。

- マイティカードがTrueVUE ミドルウェアを含めた True VUE RFID Platformをデモ展示します。

- | |
|----------------------------|
| 名称： 第2回 RFIDソリューションEXPO |
| 日程： 2007年5月16日(水) - 18日(金) |
| 時間： 午前10時 午後6時 |
| 場所： 東京ビッグサイト(お台場) |
| 主催： リードエグジビションジャパン株式会社 |

小間No. **東20 - 16(東2ホール)**にてお待ちしております。